

支部便り

関西支部「出前講義」開催報告

Short report on Kansai Branch Seminar to support the Medium-sized Enterprises, “Demae Kohgi”

池田 勝彦*
Masahiko IKEDA*

平成29年2月2日(木)17時から八尾商工会議所中会議室において、八尾商工会議所の共催のもと、『第20回「八尾ものづくりカレッジ～ものづくり企業挑戦シリーズ』の一環として、『マグネシウム・チタン材料を使いこなす』のテーマで開催した。この催しは軽金属学会が進めている中堅企業支援プログラムの一環として行われた。またこの実施に当たって、八尾市 経済環境部 産業政策課に多大なご支援・ご協力をいただき、特に、同課参事・ものづくり支援室長 津田哲士様には、いろいろとご尽力をいただいた。この紙面をお借りして御礼申し上げる。

関西支部の行ってきた「出前講義」は中小企業の技術者・経営者の方々に、①「学会」は難しくない、②「学会」は役に立つ、③「学会は怖くない」ようだということを理解していただき、「身近な学会」をめざしてきた。また、開催経費を抑えるため、関西エリアの産業振興を行っている公的機関（例えば、中小企業サポートセンター、地場産業振興センター、市役所内産業振興課、商工会議所など）を飛び込みで訪ね、趣旨説明を行い、趣旨に賛同をしていただき、協力を得るということで進めてきた。

この活動を進めることでわかってきたことは、①積極的にご対応いただける市・②積極的に対応したいけれど相応しい企業が少ないため二の足を踏む市・③「必要ない」と断る市である。①の市とは良好な関係を続けると継続的にイベントが開催できる。②はテーマ選択で実施可能である。③は「一応」諦めることにしている。また、学会と共催いただく団体での分担も明確にしている。学会は講師の手配と配布物の作成、共催いただく団体には会場の手配と参加者の募集としている。おのおのにかかる費用は、分担したところで負担することにしている。つまり、学会の負担経費は講師の交通費・テキスト作成費・印刷費程度に抑えることができる。講師は関西支部に所属する大学・公的研究所の先生および企業の研究者・技術者の方を原則お願いしている。この結果、交通費・テキスト作成費はリーズナブルな枠での活動程度となっている。

今回は、神戸大学 教授 向井敏司先生、日鉄住金テクノロジー株式会社 阪神事業所大阪技術営業部長 福井 清様、さらに奈良精工株式会社 中川博央様で講演・懇談の場を設けた。

このような講演会では、講演のテーマを決めるのが最も難しい課題である。「出前講義」では共催団体、今回は八尾市 経済環境部 産業政策課 参事・ものづくり支援室長 津田様をお願いして、同室に登録されている企業に「軽金属関係で



図1 ものづくりの技術事例を惜しみなく紹介し、チタンの未来を熱く語る福井様

どんな話が聞きたいか」というアンケートを取り、その結果にもとづいて決定している。今回は、「マグネシウム合金の性質と応用事例」(向井先生)、「チタンの材料技術と強度特性」(福井様)、「チタン材料の応用事例」(中川様)とした。マグネシウムとチタン材料の学術的な内容と産業面の内容となった。

具体的には、向井先生からはマグネシウムの車両(新幹線)や自動車ボディへの応用から始まり、マグネシウムの諸特性(成形性・破壊靱性など)の改善法などの説明がされた。福井様からは、チタンの成形性に重点を置いた説明があり、さらにチタンの諸特性までの話をされた。中川様はチタンの重要な応用分野である医療機器分野への応用について説明された。

参加者は金属加工業を生業とされる企業から24名であった。参加された方々に八尾市からアンケートを実施されているがまだその結果を頂戴していない。著者は本務校の業務(入試)でこの講義には出席できなかったが、参加された関係の先生のお話では、参加された方々が講師の先生の話に熱心に聞かれていたこと、数は多くなかったが質問もあり、その回答にも満足されていたようである。

関西支部は、今後も改善を加えながら「出前講義」を継続実施し、「軽金属の技術分野」は「中身が面白い」、「成果が役に立つ」のイメージを中小企業の技術者・経営者の方々の「心」に浸透することをめざすとともに、1社でも、1人でも軽金属学会の会員になっていただけるように今後も実施していきたい。最後になりましたが、講師をお引き受けいただいた神戸大学 向井先生、日鉄住金テクノロジー株式会社 福井様、奈良精工株式会社 中川様に感謝いたします。

* 関西支部長、関西大学化学生命工学部 (〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35) Faculty of Chemistry, Materials and Bioengineering, Kansai University (3-3-35 Yamate-cho, Suita-shi, Osaka 564-8680) E-mail: hikoik@kansai-u.ac.jp
受付日: 平成29年2月23日